



明日を拓く

学校報
令和元年11月29日
No.42
美郷町立美郷中学校

■「難しいけど楽しい」♡中学校の授業体験♡



11月26日(火)の5、6校時の時間帯、新年度第11期生となる町内3小学校の6年生の体験入学を実施しました。

例年は1月末、2月上旬頃に実施していたのですが、なるべくインフルエンザの流行期を避け、校内巡回型から授業体験型へと趣向を変えてみたいと考えて計画しました。豈(あに)凶らんや、例年では考えにくいインフルエンザの猛威にさらされてしまいました。

なお、保護者を対象とした入学説明会は、例年どおりの時期に開催予定です。

第1部は、第10期生の1年生奏令学年が、先輩らしく美郷中学校の生活についてクイズや映像、そしてパネルディスカッションで紹介しました。予想以上にたくさんの質問が出され、活発な情報交換の場となりました。



第2部は、数学、英語、音楽、体育、技術の5教科に分かれて中学校の授業を体験しました。どの学習の場面でも「難しいけれど楽しい」との感想を聞くことができました。これが、中学校の学習です。この積み重ねを3年間継続して、大人になる基本、即ち社会に出る力を身に付けて高等学校等へ進学していきます。



校長から6年生の皆さんに、「①挨拶、返事は元気にする。②自分のことは自分です。③自分のよいところを三つ言えるようにする。」を目標にして6年生の残りの生活を充実させ、夢や希望を抱いて中学校に入学してほしいとお話しました。

次号以降で、体験授業の様子や6年生の皆さんの感想等をお知らせします。

■挨拶と目で聴く学習が印象的♡箱根町視察♡

11月27日(水)午前、神奈川県箱根町教育委員会指導主事、箱根中学校長、箱根の森小学校教頭の3名が、千畑小学校と本校の学校経営及び生徒の学びの姿を視察研修してくださいました。箱根駅伝で有名な日本の第一級観光地にある学校のように、人口減、学校減の厳しい状況は美郷町と同様だそうです。



主に小・中連携、学力向上に向けた取り組みについて情報交換をしました。

本校生徒の目を見て挨拶する姿や、目で話を聴く姿勢、グループ活動で一人一人が積極的に関わって学ぶ姿勢、ノートの取り方や、一人勉強ノートの内容など、当たり前が行き届いているということが印象に残ったとのことでした。これを励みに、ますます頑張りたいものです。



■「縄文の造形美と棟方志功」展♡本物は凄い



11月28日(木)、1年生奏令学年が総合的な学習の時間「私の美郷～ふるさと再発見」の一環として、学友館へ見学に行きました。

美郷町では各地で縄文土器が出土しており、中には東京国立博物館に所蔵される文化的価値の高いものが多くあります。また、縄文の造形美に触発された棟方志功の作品も大原美術館から展示の協力をいただいております。まさに、ふるさと再発見の学習にぴったりです。展示品の中には直に触れることのできるものもあり、縄文を肌で味わうこともできます。展示は12月1日までです。是非とも多くの皆さんに観ていただきたいものです。

